



2022年度宇城市男女共同参画推進表彰事業者を紹介

株式会社 ラディカ (フォーシーズン、そらいろ保育園)

市では、男女共同参画の推進への優良な取り組みを行う事業者として、市内で介護事業や保育園事業を展開する(株)ラディカ(フォーシーズン、そらいろ保育園)を認定。1月に開催したパートナーシップ・フェスティバルで表彰しました。

主な取り組み

- 性別にこだわらない採用や管理職登用
- 仕事と家庭の両立支援
- さまざまなハラスメント防止規程の整備と男女それぞれの担当者を配置した相談窓口の開設



介護事業を行うフォーシーズンの施設

男女共同参画を推進して会社が変わったこと

- 子育て世代の採用数が増えた。
- 元々女性社員の比率が高かったが、男性社員の採用も増加した。
- ライフワークバランス充実のための取り組みがより活発になった。

社員の声

- 急な有休や育休取得がしやすく、子どもの病気や家族の介護などで休む場合も理解があつてありがたい。
- 事業所内に保育園があるから子どもを安心して預けられる。



人権啓発課  
☎32-1708 FAX 32-0110  
✉jinkenkeihatsuka@city.uki.lg.jp

消費者トラブル 注意報  
商工観光課 ☎32-1604

市長からのメッセージ

消費者問題の解決に取り組みます

消費者トラブルを防ぐためには、

- 今のようなトラブルが起こっているのか
- 被害に遭ったらどうしたらよいか

を事前に知っておくことが必要です。

市では出前授業などでも、消費者トラブル啓発活動を行っています。また、「消費者の自立」を支援するために被害に遭ったときの救済や対処方法などを相談できる消費生活センターを開設しています。

今後も消費に関する情報提供や注意喚起などの啓発を推進し、消費生活センターを維持していきます。皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

宇城市長 守日憲史

相談は 宇城市消費生活センター ☎33-8277 へ

かしこくみんなの 年金学  
熊本東年金事務所 ☎096-367-2503  
医療保険課 ☎32-1417

国民年金保険料は口座振替が1番お得

金融機関の窓口やコンビニで支払う時間がない人は口座振替を利用してください。まとめて前納すると保険料が割引されます。

口座振替の申し込み先

希望の金融機関、最寄りの年金事務所

口座振替の前納の申込期限

2年、1年、6カ月(4~9月分)の前納...2月末

6カ月(10月~3月分)前納...8月末

※年金事務所必着です。

令和4年度の割引額

振替方法	納付額(1回あたり)	割引額
2年前納	381,530円	15,790円
1年前納	194,910円	4,170円
6カ月前納	98,410円	1,130円
当月末振替	16,540円	50円

みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課 ☎32-1934



ひろみち 本田博通地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします



「一人になる」

熊本市にある、りんどう支援センター(熊本県ハンセン病問題相談支援センター)の映画会に行きました。映画は国のハンセン病患者隔離政策にただ一人、異を唱えた医師のドキュメンタリーです。日本の隔離政策は1907年の法律制定から始まり、戦時「民族浄化」を掲げ、戦争に変えながら、国民に偏見を植え付け、長い間ハンセン病患者と家族を苦しめました。当時の医師の多くは、患者の周りにたくさんいる患者が出ない事実から強制隔離が必要ないことは分かっていた。しかし、国策に逆らえず、どんなに間違ったことでも国民に普及させようとした。強制隔離に反対した医師小笠原登は1888年、愛知県に生まれました。住職の祖父は医師でもあり、訪れるハンセン病患者の診療もしていました。地域の人も診療に来て、寺で一緒に囲碁や将棋をする、そんな光景を見て

育ちます。

スクリーンにカルテの束が映し出されます。小笠原の書いたカルテです。病名は空白。無らい県運動(強制隔離)が激しくなってきた頃から、小笠原は患者を守るために、病名欄を空欄にしたり、隔離の必要のない別の病名を書き入れました。学会は国策を推進する医師たちが小笠原を攻撃し、所属する寺の宗派も国策に従わないとパッシングしましたが、凄まじい同調圧力を受けても、小笠原は「ハンセン病は不治の病ではないし、遺伝でも、強烈な伝染病でもない」と隔離に反対し続けました。張られた映画のポスターに、こちらを見つめる白衣の小笠原がいます。その写真の横には、「群れるな ひとりになれ/みんなになるな ひとりになれ」と書き添えられています。

晩年、赴任したハンセン病療養所に設けられた保育所で小笠原は、子どもたちに囲まれながら最後の勤務を終えたそうです。

郷の記憶をたどる

文化スポーツ課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します



郷土資料館



開館時間 10時~17時  
休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)  
住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

特別パネル展

「つなぐ 高校生と松橋空襲」



永代橋

戦争のために造られた施設や、戦争で被害を受けた建物などは、戦争遺跡という名称で、近年文化財として扱われることが増えてきました。郷土資料館では、現在市内に残る戦争遺跡を紹介するパネルの展示を行っています。

今回は、松橋高校の生徒が作成したパネル展。同校では、「総合的な探究の時間」の授業で、生徒が興味を持ったテーマを実際に調べ、理解を深めています。2年生の中川大輔さん、松出大輝さん、

松本来優さんの3人は、終戦間際の昭和20年7月から8月にかけて起こった松橋空襲と、宇城市に残る戦争遺跡について調べています。

空襲を受けた鉄道橋「永代橋」の橋脚には、現在もその時の弾痕が残されており、高校生は現地を訪れ、実際の戦争の痕跡を目の当たりにしました。

宇城市に住んでいても、なかなか知る機会のない戦争遺跡。戦争を経験したことがない高校生は、探究の過程で何を知り、何を感じたのでしょうか。皆さんも展示を通して戦争と平和について考えてみませんか。

期間 3月26日(日)まで

高校生のギャラリートークを開催します

日時 2月19日(日) 10時